

 いわみざわ公園バラ園 www.iwamizawa-park.com



ため池と川

バラ園と遊園地のある一帯は駅辺りを含め志文と呼ばれてきました。遊園地の北にあるキャンプ場奥には金志池があり、志文川（シュブンペツ川）となって遊園地の中を通り、幌向川に注いでいます。この池は開拓時代、地元有志によって農業用水を確保するためにつくられたそうです。かつてはここから山裾に沿って上志文、宝水町までため池が点在していました。先人たちは利根別休養林から流れ落ちたり湧き出た豊富な水を貯え、利用していたのです。バラ園内にもため池の名残が郷土資料館の東側にあります。こうした先人の知恵と努力を味わいながら、辺りを散策してはいかがでしょうか。（かわはら）

白紋羽病（しろもんぱびょう）

庭の雪が溶けて、ガーデニングシーズン到来の季節が始まります。雪解け後の庭の中は移植などの作業が始まり、何気に株元を見ると白いカビのようなものを発見してドキドキした事ありませんか？果樹、庭木、草花など広範囲の植物に発生するのが「白紋羽病」と言います。土壌中に生息するカビにより発生し、発病株は地際部の莖や根部に白いカビの菌糸がびっしりまとわりついていて、そこが褐変し腐敗しやがては植物を枯らします。そのため、見つけたら、適性のある農薬処理と根洗いをしてから埋め戻すと良いでしょう。（たかはし）

早い春だけど・・・

今年は、春が早く花壇や家庭菜園用地には雪が無く早く種まきや植栽をしたい気持ちが逸りますが、陽気に惑わされてはいけません。量販店では苗もの販売が年々早まっています。量販店の親元の大半が本州企業で本州の気候に合わせているから早くなるようですが、惑わされずに外気温と地温が確実に上がるまで待つことが肝要です。植物の成長には、水と肥料が必要ですが、地温や外気温、風の強度、日照時間も大きく係ることを忘れてはなりません。寒さや風で葉や根を傷めないようしなければ、成長遅れや枯れてしまうことがあります。色々気を配り綺麗な花を咲かせたり、美味しい作物を作りましょう。（ながやす）

鉢物

今年は早々に積雪ゼロが告げられ桜の開花も早まりそうです。北海道もいよいよ園芸の季節。家の中に入れて育てていた耐寒性のない植物達も少しずつ外気に慣らしてあげましょう。環境を変化させる時は「少しずつ」が大切です。植物の立場になって考えることが上手に育てるコツかもしれません。そういえば盆栽には樹齢600年以上のものもあるそうですが、いったい何世代、何人の人々が関わり育んで来たのだらうと思うと感慨深いものがあります。人が生死を分けた戦争中でも変わらず誰かが守り育て続けた長寿盆栽とは、もう立派な「宝物」。毎年春になると素敵な鉢物がたくさん出回りますが、一生懸命持っている鉢物を大事に育て続ける暮らしが出来る人は素晴らしいと思います。（きのした）

サンカヨウ

サンカヨウは北海道から本州中部あたりに生息する高山植物です。メギ科のサンカヨウ属の多年草で、30cm～60cmまで成長します。茎は太めで、大小の2枚の葉をつけますが花は小さい葉につきます。サンカヨウは「山荷葉」と書きますが、荷葉とはハスの葉のこと。ハスの葉のように大きな葉をつけますがどちらかというところフキの葉のほうが似ているかもしれません。花期は5月～7月のころで、2cmほどの6枚の花びらを持つ白い花が3～10個ほど咲きます。この花びらが雨などの水分にぬれると透明になるのがこのサンカヨウの特徴です。サンカヨウの花びらが水分に触れて透明になった後、花びらの色は透明のまま色が戻らなくなるわけではありません。花びらが乾燥すると、また元の白い色に戻ります。北海道では割と栽培しやすい高山植物なので庭に植えると透明なガラス細工のような花が見られるかもしれませんね。

(いとう)



室内公園 色彩館

ミヤマホタルカズラ *Lithodora diffusa*

ムラサキ科ミヤマホタルカズラ属

原産地：ヨーロッパ

とても目を惹く青みを帯びた紫色で径1～2cmほどの小さな花を3～4月頃に咲かせます。草姿は矮性で這うように伸び、色彩館の石垣風のベッドと相性がよく、とてもいい雰囲気が出ています。北海道で越冬できるほどの耐寒性が無く、耐暑性についても特に蒸れに弱いので、日本では一年草として割り切っている方も多いようです。



今月の開花情報



サクラの枝に黒ずんだこぶ

サクラの枝に「こぶ」をつくる病気として、これまでに「サクラこぶ病」「サクラ癌腫病」2つの病気が報告されています。ソメイヨシノにできる“こぶ”がこれらの病気によるものなのか、新しい病気によるものかはまだ明らかになっていません。しかし、枝が枯れることが予測され、伝染する可能性もあるので、サクラを保全するためには早期の対策が望まれます。

サクラこぶ病 病原菌：シュードモナス・シリंगाエ
と言うバクテリアの一種。広葉樹に“こぶ”を形成する病原菌として知られ、特定の樹種にのみ病原性を示すいくつかの病原型を有します。

サクラ癌腫病 病原菌：ネクトリア ガリゲナと言うこの菌類に属する糸状菌、カビの一種。サクラのほかにも多くの樹木に病原性を示す多犯性の菌です。

対応策

現状では薬剤等による防除法は確立されていません。しかし、そのまま放置しておくとも病原菌の感染源となる可能性もあるので、“こぶ”が形成されている枝は、枝のつけ根からの除去が必要です。



ひとつき
ひとバラ



文：田中 伸枝
(いわみざわ公園バラ園)



第七十回

ハイブリッドティーローズ

エレクトロン®

Electron®

作出国：ニュージーランド

作出者：McGredy

作出年：1962年

ハーディネスゾーン：Z6

繰り返し咲き性

交配：Paddy McGredy × Prima Ballerina

エレクトロンは平たく言えば濃いピンク色なのですが、ローズピンク、ショッキングピンク、チェリーピンク、セリーズ（サクランボのような）ピンクなど様々な表現がされていて、なんとも複雑な色味を帯びた印象的なバラです。しかも花径 12 cmほどの大輪は迫力があります。一番花は暑さで開ききって、『半八重咲き?』と思うような状態ですが、秋花になると色が鮮明になり、花弁が厚みを増し形もしっかりとして綺麗な高芯咲きとなります。葉も艶のある深緑色で秋花の雰囲気を引き立てています。冷涼な気候のほうがより美しさが引き立つようで、季節の移ろいにより違う表情を楽しめる魅力的なバラです。樹形は高さ・巾ともに 60～120 cmほどとコンパクトで、香りはわりと強香でちょっぴりスパイシーなダマスク香ですので、お庭の手前側に植えて香りも楽しんでいただきたいと思います。病気に強く、耐寒性もハーディネスゾーン Z6 (-23℃～-18℃) ですので、適切な雪囲いをすれば問題ありませんが、ハイブリッドティーなので油断も禁物です。

もともと登録名は当時真空管で有名だったイギリスの電子企業ムラードに由来した‘Mullard Jubilee’でしたが、なぜか‘Electron’として1970年にオーストラリアで

導入されています。Electron は『電子』という意味ですから分からなくもないですが…電子なだけに、鮮明な色合いにビビッときたのでしょうか？(笑) 交配が Paddy McGredy × Prima Ballerina ということで、Paddy Prima という愛称もあります。可愛い名前ですね。ちなみに Prima Ballerina の花粉親(父親)は、かの有名な‘Peace’です。かくいうエレクトロンも RNRS、AARS などの賞を多数獲得しており、銘花の血筋、おそろべし。です。

作出者である McGredy は北アイルランドで 1880 年に Samuel McGredy and Son, Nurserymen を設立し、2 代目からバラの育種を始めました。McGredy 家にはその後色々ありまして何とか育種を続けていたが… 1960 年代後半の北アイルランド紛争で、1972 年にニュージーランドに移住することを決意し、社名も McGredy Roses, International に変更しました。その際に温室栽培をやめ、需要の大きい北米向けのバラを作ることに成功しました。McGredy 家については、是非またの機会にじっくり書きたいと思います。美しいバラの背景には色々あったんだな〜〜(何かあったか知らんけど)と、なんとなく想いを馳せながら鑑賞していただければと思います。

バラ園を一緒に育みませんか？

令和2年度 いわみざわ公園バラ園作業ボランティア
『トムテ』のなかま 募集

皆様にもっと親しんでいただけるバラ園になっていきたいという思いを込めて、作業ボランティアを募集しています。
『トムテ』とはボランティアの愛称で、そのお家のお手伝いをしたり守ってくれる、スウェーデンの妖精の名前です。

- ◆無農薬栽培だから安心。
- ◇バラの知識がなくても大丈夫。
除草や清掃が好きな方も大歓迎!
- ◆バラ園以外にも駅前などの花壇も管理しています。
- ◇岩見沢市民でなくてもOK!
みんなで気楽にワイワイ活動しています。



お問い合わせ先 いわみざわ公園バラ園 (室内公園 色彩館)
〒068-0833 岩見沢市志文町 794 番地 TEL 0126-25-6111
URL : <http://www.iwamizawa-park.com> Eメール : info@iwamizawa-park.com

今月の市民園芸講座のご案内



- 4月12日(日) 13:00~15:00 庭木・花木管理の基本
料金：無料 定員：40名 講師：川原 元信さん フラワーマスター
- 4月19日(日) 13:00~15:00 ハンギング作りの基本
料金：1,500円～(容器代別途・およそ2,000円程度) 定員：40名
講師：高橋 かつえさん フラワーマスター
持ち物：エプロン、手袋、花切りばさみ、持ち帰り用袋または箱、
(あれば) ハンギングバスケット容器 (エレガンスまたはリース型)
- 4月25日(土) 10:00~12:00 ばらゼミ②剪定の基本
料金：無料 定員：40名 講師：工藤 敏博さん ローズグローワー
- 4月26日(日) 13:00~15:00 家庭菜園を楽しもう
料金：無料 定員：40名 講師：山黒 良寛さん 拓殖大学北海道短期大学

※新型コロナウイルスの状況により、変更または中止の可能性あり。
詳しくはお電話かホームページにてご確認ください。
電話 : 0126-25-6111 ホームページ : <http://www.iwamizawa-park.com/>